

## ●第2期の基本方針

### “フィリアホール”と“青葉区民文化センター”の二つの顔をめざして ～“地域を『繋げる』フィリアホール”～

第1期での実績を発展拡大し、現在の区民文化センターに求められる役割を認識し、確実に成果を上げることを目指し、「二つの顔を持つ青葉区民文化センター・フィリアホール」を理想の姿として目指します。

#### 1. 二つの顔の青葉区民文化センター

二つの顔とは、「文化の発信、発表の場を提供するフィリアホールの顔」と「地域連携、協働を発展させる青葉区民文化センターの顔」です。

「フィリアホール」の文化発信・鑑賞事業は、従来の実績を継続・発展拡大させ、新たなテーマでの事業にも取り組みます。一方で、「青葉区民文化センター」としては、地域の人々と協働して地域ニーズ・課題に向き合い、そうした課題に「音楽」というツールにより、より気軽に「音楽」を体験し、感動を与えることが出来る活動へチャレンジしていきます。

二つの顔の活動は、各々の強みを生かして相互に協力連携し、区民文化センターの役割を認識し、文化の発信と地域コミュニティ形成を繋がり合わせて、総合的な活動を行うことにより「地域を繋げるフィリアホール」として地域における重要な拠点となることを目指します。

◆青葉区民文化センターの位置づけと役割を次の4点とします。

- ◎文化発信：音楽を中心とした上質な文化の発信と施設を利用し公演する人々の活動支援
- ◎人材育成：次世代音楽家の育成と地域で文化事業を担う人々の育成
- ◎地域連携：音楽を通して区民や各種施設や団体と連携する活動
- ◎地域創造：それによる地域の活性化、区民の社会参加機会作り

#### 2. フィリアホールとしての文化事業活動

日頃から芸術文化に親しみ、より高品質な文化を求める皆様に、これまで以上に満足できるプログラムを企画します。また初めて芸術と出会う方に、それが生涯の支えとなり、地域共同体的アイデンティティ形成につながるもの、地域にとってなくてはならないものとなるような出逢いのきっかけを提供する場・媒体として、音楽芸術を位置づけ、より発展した鑑賞・参加プログラムを展開してまいります。

##### 『二つの軸を中心とした文化事業のプログラム』

「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」の二つの軸を中心としたプログラムを提供します。「コンサート・シリーズ」では従来定着してきたシリーズを継承し、世界レベルの高品質な芸術を提供し、地域の誇りとなる文化芸術発信拠点を目指します。「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」は、若手音楽家の育成企画を提供し、体系的にまとめた幼児・ファミリー向けの企画や新しい区民企画など区民のニーズに沿った地域密着型企画を実施します。

コンサートシリーズ：クラシックコンサートを中心とした文化芸術鑑賞機会を幅広い層に提供します。

- ◎ 上質なコンサートシリーズ企画では、最高峰のアーティストによるコンサートを展開する一方で、気軽に音楽に親しむ企画により新規顧客の開拓促進にも努めます。
- ◎ 定番のコンサートシリーズに加えて、最低でも年間1回は特別企画を実施します。新年や他館との連携、区や市との連携、周年記念などを企画します。

エデュケーション&コミュニティ・プログラム：人材育成／地域型プロジェクトを体系的に実施します。

- ◎ 次世代音楽家の育成企画では、ワークショップ、レクチャー等の開催や若手アーティストに演奏の場を提供して行きます。
- ◎ 音楽と触れ合う機会の創出というテーマに沿って、年齢や対象別に体系的に構成した企画により、お子様とファミリー層が参加できる企画やこども達の感性育成をテーマとする企画などを実施します。
- ◎ 文化的コモンズ形成への取組を意識し、地域協働で進める区民提案型企画や地域施設や団体との協働によるアウトリーチ活動、学校訪問などを実施します。

### 3. 青葉区民文化センターの、地域コミュニティ・文化的コモンズ形成の牽引役としての活動

#### 『文化的コモンズ形成への取り組み方針』

「文化的コモンズ形成の牽引役」としての重要なポイントは、「音楽を通していかに地域に入り込むか」ではなく、「地域のニーズに音楽を通してどれだけ応答していただけるか」ということです。

多種多様な課題が存在するなかで、課題と向き合い、ニーズを捉え、人々に対してどれだけの活動を行い、連携していただけるかが重要だと考えます。様々な人々とのネットワークを作り、それを繋げていくことで、音楽で地域を繋げる＝文化的コモンズ形成の牽引役を果たしてまいります。

#### ●キーワードは「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」

「音楽芸術」というアイテムを使いながら、「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」場を提供することを目標に掲げ、「地域連携」を明確な柱として運営を提案していきます。

地域の課題やニーズを把握しながら、そこに「音楽」を通して活動し貢献する企画を、地域の人々と共に築くこと、市民と協働することを目指します。

#### (1) 地域と連帯し、地域課題に取り組む

区民に親しまれる施設として、貸出業務、文化事業等の全ての運営領域において、様々な角度から地域の課題に向き合い、地域コミュニティを支える施設を目指します。

#### (2) 市民協働・活動支援・人材育成での基本方針

総合的な連携や役割を作り出していくことを視野に、目指すコンセプトやミッションを共有していくことでのネットワークづくりを目指しています。1度の事業開催企画ではなく、繋がったネットワークを活かし各団体・他施設の特色を生かし更なる活動へ発展させていくサポートをしていきます。

#### ◎ 地域ニーズの把握～事業を担う人財の育成

顔の見える地域連携を目指し、他施設・拠点に情報提供を兼ね定期的訪問することで、地域の課題やニーズに合った連携事業を提案しやすくしていきます。「拠点」の運営にあたる「人的資源」と「施設」等の連携協働で実施をしていかなければいけないと考えます。まさに地域の人々との「協働」=共に歩む活動、をその基本として、さらに「協働していただける人＝人財」を育成する活動を進めていきます。

#### ◎ 地域と連携・協働し、地域課題に取り組む「青葉区民文化センター」の活動

##### ○地域コミュニティの形成への活動

地域の課題への取組地域の中に音楽を楽しめる場所作りをめざし、地域内施設やグループ団体とのネットワークが形成され、共に楽しめる企画を実施してまいります。

##### ○ソーシャルインクルージョン:楽しむ企画と参加し協働する企画へ

区民提案型企画を公募します。上記のコミュニティープログラムでは、ファミリー層が親しめる企画を実施します。地域コミュニティー形成への取組を担っていきます。

#### ◎ 地域の団体グループへの支援連携・文化事業を担う人々の育成

地域で活動する団体やグループに対して、ホール公演での舞台サポート等に加え、情報提供、相談機能、人材育成補助などの活動を進めます。地域内団体の情報を青葉区民文化センターを介して、地域に発信していく方法を模索して行きます。

### 4. 基本的施設運営の考え方

「人財」「施設」「収支」「情報」の4つの柱を運営の軸とします。文化発信拠点として地域の絆をつなげる役割を果たすため、適切な施設運営に努めます。

人財 ◎専門知識や経験をもった運営スタッフの配置・・・連帯して、そのノウハウを最大限に発揮

施設 ◎利用を促進させ安定した収入を目指す運営◎安心安全快適な施設提供をする運営

収支 ◎健全な収支構造と適切な経営管理 ◎安定した収入確保 ◎管理料以外の収入の模索

情報 ◎積極的な広報活動・・・HP の改編・WEB を使った情報発信、情報の収集

## 平成30年度(2018年)の位置付け

第2期初年度は、過去の実績を踏まえて、主要な事業は継承・発展拡大させると共に、新たな活動領域への取組を積極的に推進する年とする。

文化事業の中心となる鑑賞型事業「コンサートシリーズ」は、従来のシリーズを基本的には継承していきます。今年度はフィリアホール開館25周年に当たり、そうした記念すべき年であることを冠に年間ラインナップを展開します。様々な販促広報策を駆使して、集客(チケット販売)を安定させ、加えて新たにフィリアホールにお越しいただく方を増やしていく努力をします。

「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」と題する教育系(アカデミー)プログラムでは、若手音楽家の発表の場という観点と若い音楽愛好家たちへのレクチャーと言った観点も重視し、鑑賞型ではない参加し、学ぶ教育型のプログラムを展開します。

地域コミュニティ形成は今期の重要な役割であることを常に意識し、まずは、幅広く様々な観点から地域ニーズ・課題の本質等のヒアリングをいろいろな方や団体に行っていきます。その上で、具体的な企画を数本実施していくようにします。

地域連携を踏まえた事業展開では、新区民企画の公募を行い、年間2本は最低実施します。企画の選定では、地域課題への取り組み方針や提案者の企画力などをポイントで選定していきます。実施に際しては、当館は全面的にバックアップし、地域課題に協働して取り組んでいく内容のものを目指します。

施設運営では、より多くの方々にご利用いただけるよう、空き室の広報や平日利用の促進、リハーサル室でのミニコンサートの推奨、音楽を絡めた講座や朗読会等幅広いジャンルでの利用を促進します。

ご利用人数の正確な把握を課題とし、ご利用者からの申告確認を徹底していきます。

日常にご意見ご要望を収集するため、情報コーナーや練習室などに常時用紙を配置し、ご意見箱のようなものを設置していきます。頂いたご意見への回答も掲示していきます。

施設管理面では、日常的な保守管理を徹底するのはもちろん、25年を経て各所に経年劣化する部分も多く見られている所を重視し、中期的な修繕計画を立案して行きます。年間費用を友好的に使用して、「安心安全快適」な施設環境を維持していくようにします。

# 平成30年度(2018年度)事業計画

## I. 平成30年度文化事業の基本的方針

平成30年度(2018年度)は、第一期で培ってきたホール・ブランドイメージと、地域密着型企画をさらに進化させ、これまで以上に「地域に開かれた区民文化センター」としての役割を明確に意識した企画のブラッシュアップを図ることを目標に据えています。コンサート・シリーズでは引き続き世界最高峰のアーティストを招聘する企画と新規顧客を開拓するコンサートを企画し、一方で従来開催してきた子ども向けプログラムや若手芸術家育成企画をコンサート・シリーズと明確に分割し、さらに対象ごとにシリーズの細分化を行っていきます。

### 1. コンサート・シリーズ

フィリアホールが横浜市内を代表する芸術拠点としてのブランドを醸成し、芸術に感度の高い区民ニーズに応え、地域が誇れるホールを目指します。ここから高品質な文化芸術鑑賞機会を提供する鑑賞事業の実施します。クラシック音楽に親しみのない層、関心はあるがハードルを高く感じている層を含めた幅広い顧客に気軽に足を運べるコンサートを提供します。

《女神との出逢い》シリーズは顧客層の支持の高く、過去の公演で人気ピアニストなど定評あるアーティストで確実な集客を見込むほか、従来から要望の高かった期待の新人も迎え、フィリアホールの新規顧客層の開拓も目指します。

《ただひとつの世界》シリーズでは東京都心の一流ホールで登場する世界最高峰のアーティストを招聘し、優れたクラシックホールとしてのブランドイメージをより高め、新たなクラシックファンの獲得にむけ、新しいアプローチを模索します。

新規顧客開拓を目指すシリーズ《本と音楽の素敵な出逢い》では、作家・奥泉光と、テレ朝「報道ステーション」OPテーマ採用等若手で最も注目される女性ジャズミュージシャン・矢野沙織率いるカルテットによるトーク&コンサートを予定。

《ランチシリーズ》は廉価で気軽に足を運べるコンサートとして、クラシック音楽に親しみのない層を含めた幅広い顧客へアプローチします。

《特別企画》として、フィリアホールオープン25周年にあたる本年は、同じ記念年(没後100年)にあたるドビュッシーの室内楽作品全曲演奏会の開催を予定しています。

### 2. エデュケーション&コミュニティ・プログラム

エデュケーションプログラムでは、小さいお子様と家族向けの企画、一流演奏者によるマスタークラス企画、そしてコミュニティ形成にかかわる地域密着型企画の3つの軸をベースにプログラムを実施します。コンサート・シリーズと連携を図り、音楽を通じてコミュニティに参加できる企画を意識します。

#### ●教育/地域密着型プロジェクトの発展と体系的な実施

育成教育プログラムは「フィリア・ミュージックアカデミー・プログラム」(仮称)として、管・打楽器を学ぶ学生向けの教育プログラムをスタートし、今後も他分野で地域の若年層を多方面で「育てる」企画を検討します。

「未来にはばたくドリームコンサート」を育成プログラムとして発展させ、従来の企画委員会を改編し、企画運営に積極的にかかわる機会にします。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、子供の感性の育成に役立てる機会を提供する一方で、保護者層に子どもとの思い出になる時間を提供します。若手アーティストを積極的に起用し発表の場として活用します。

「地域コミュニティ・プログラム」では区民提案型企画を公募します。区民自らが立案・実施する地域のニーズや課題を解決することを意識した地域密着型企画を実施します。

地域の小中学生で結成された「フィリア・ジュニア合唱団」は、従来の区民企画委員で運営委員会を結成し、引き続き「区民によって企画運営する」活動として積極的にサポートします。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業による小中学校へのアウトリーチ活動を引き続き継続し、地域諸施設へのアウトリーチ活動や提携企画をより拡大していきます。

### 3. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

国内外の優れたアーティストによるリサイタル、地域のオーケストラ公演など年間20本程度実施します。従来のネットワークを生かし、ホール主催では実現が難しい幅広いジャンルの文化芸術を提供します。従来貸館で実施してきた優良公演も積極的にサポートします。

## 平成30年度の鑑賞型事業の基本ラインナップ

コンサートシリーズ					
公演(シリーズ)名	コンセプト	開催日	実施想定月	年間収支(千円)	
土曜ソワレ 《女神との出逢い》	ベテランから若手まで、「女性アーティスト」によるリサイタル	土曜夜 年8回	5・6・7・9月 10・11・12・2月	収入	13,500
				支出	9,020
JUST ONE WORLD 《ただ一つの世界》	厳選された世界一流アーティストによる高品質なコンサート	平日夜 年1～3回	8・11月	収入	6,060
				支出	6,380
ウィークデーコンサート 《らん・らん・ランチにいい音楽》	休憩なし1時間1,500円。気軽に音楽に触れる機会の提供	平日昼 年6回	4・5・7月 11・12・2月	収入	3,230
				支出	2,860
フィリア・ハイムコンツェルト 《「サブタイトル＝テーマ」》	室内楽に最適なホールで堪能する室内楽アーティスト紹介	平日 夜 年1～2回	10・11月	収入	3,880
				支出	3,480
神奈川フィルの名手による室内楽 《名曲の午後》	地元神奈川フィルとの連携、客層の拡大にも貢献。共催でも1公演	平日昼 年1回	9月	収入	1,060
				支出	1,000
フィリア・トーク&コンサート 《本と音楽の素敵な出逢い》	「文芸」と「音楽」をテーマに、作家とアーティストが語る	土日 昼 年2回	5・8月	収入	3,530
				支出	3,310
土曜ティータイムコンサート 《音楽のある風景》	お茶菓子のサービスつき 地域内の店舗との連携	土曜 昼 年2回	6・9月	収入	4,350
				支出	4,060
ニューイヤーコンサート	新年を飾る華やかなソリストとN響のメンバーによる室内オーケストラとの饗宴	土曜 昼 新年	1月	収入	2,880
				支出	2,550
特別企画	開館25周年企画・他ホールとの連携企画	土日 昼 年1回程度	11月	収入	2,750
				支出	2,730

エデュケーション&コミュニティ・プログラム					
公演(シリーズ)名	コンセプト	開催日	実施想定月	年間収支(千円)	
フィリア・ミュージック アカデミー・プログラム(仮)	音楽を学ぶ学生対象としたマスタークラス・若手音楽家にステージ提供	平日・土日昼 年3～5回	7・9月 11・3月	収入	2,870
				支出	3,840
キッズ&ファミリー ・プログラム(仮)	ホールに足を運べない幼児・ファミリー、高齢者等を対象とした体験イベント	平日・土日 年6～8回	6・7・8月 9・12月	収入	2,840
				支出	3,370
地域コミュニティ・プログラム(仮) ジュニア合唱団	区民が企画から運営までを実施。地域課題に取り組む新企画	土日 昼 年2回	公募による	収入	530
				支出	750
アウトリーチ・プログラム	学校や・福祉施設等へアーティストを派遣、STスポット事業協力	平日 年5回～	学校等と協議	収入	170
				支出	280

フィリアホール共催公演			
公演(シリーズ)名	コンセプト	開催日	想定公演
フィリアホール共催公演 ・神奈川フィル ・横浜シフォニエッタ ・音楽事務所主催	ホールイメージ向上に貢献できる厳選された質の高い公演  貸館公演同様に施設利用料等は主催者負担。ホール優先確保、メンバーズDMやポスター掲載で広報宣伝・販売をホール側がサポート。	平日昼 日祝昼 年10～15	年間15～20本

## II.平成30年度 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進への活動

### 1.「集う」「ふれあう」「活動する」場づくり

#### ◎ 地域と連帯し、地域課題に取り組む

「音楽芸術」というアイテムを使いながら、「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」場を提供することを目標に掲げ、「地域連携」を明確な柱として運営を提案していきます。

#### ◎ 地域課題へのアプローチ

平成30年度は、まず様々な課題へのアプローチ＝ニーズや課題の実態把握を行います。

##### ★子育て世代へのアプローチ

子育て拠点等の施設から、子育て世代のニーズや課題をヒアリング。専門の方の意見を取り入れ、連携した運営・企画を実施します。

##### ★青少年へのアプローチ

青葉区内の小・中学校や各施設団体と連携し、子ども達に伝えていきたい文化芸術を提案します。

「ひきこもり」「不登校」「発達障がい」など、孤立しがちな青少年と保護者層のニーズを把握し、市民団体や地域施設と連携し、音楽を生かした企画を検討します。

##### ★障がい者・高齢者・貧困家庭・障がい者・外国人などへのアプローチ

福祉に関する課題を、地域ケアプラザ・社会協議会・福祉課・市民団体等からヒアリングし、連携しながら、音楽というツールを使いどなたでも気軽に集える場を提供していきます。

##### ★団塊の世代へのアプローチ

豊富な経験やスキルをもつシニア層の活躍機会を創出し、生きがいに繋がる場を提供します。

団塊世代が退職後孤立しがちな現状をふまえ、地域と繋がるツールとして「音楽」を活用します。

### 2. 市民協働・活動支援・人材育成での活動

地域コミュニティの形成・地域の「文化的コモンズ」の形成を推進するため、区民・市民団体・地域施設・行政など、様々な立場の人と協力・助け合い、市民が主体的に豊かな生活・住みよい地域社会を求められる活動の支援と人材育成を積極的に行っていきます。

#### ● 市民協働という趣旨を活かした企画

##### ★区民企画事業の募集

市民や市民団体から地域課題の解決につながる企画案を募集し、選ばれた企画の実施に向けて全面的なサポート体制を整え、共に企画・運営・開催をお手伝いします。

区民企画を実施する人には、共同で企画実施していく中で必要な専門的知識やノウハウの研修などを行い、企画終了時には地域で活動できるような人材育成を目指します。

##### ★区民サポーターの募集

区民サポーターを募集しフィリアホールの仕事をボランティアとしてお手伝いしていただきます。接客・マナー研修を実施し、日常でも活用できる専門的知識・ノウハウを得ていただきます。

#### ● 市民協働という趣旨を活かした、市民主体の活動への支援協力サポート

##### ★区内文化芸術団体・個人の可視化(アーティスト・アーカイブス(仮))

区内で活動を行う各個人・団体にアプローチし、賛同を得られた団体・個人等を「登録アーティスト」として登録。データベース「フィリアホールアーティスト・アーカイブス(仮)」を設立します。

##### ★ホールでの利用者への全面サポート体制

ホール利用申請から本番まで、施設利用責任者、舞台技術スタッフが、打合せ段階から詳細な相談・アドバイスを行います。技術的な提案、舞台設営の方法や進行管理での相談も行います。

チケット委託されている公演の情報(内容、発売日等)を、WebサイトやSNS(Twitter等)で公開し、紙媒体の「イベントカレンダー」等も含めて、利用を強力にバックアップします。

●地域で活動する人財への支援・育成

★利用団体向けのステージマネジメント講座などの開催

地域の文化活動を行う人財育成・支援活動として、市民団体や地域の方々にとっての相談窓口と、人材の育成拠点としての機能を強化します。舞台技術講座や、マネジメントに関する講座、チラシ・ポスター作成講座などを企画します。

●区内外教育機関との連携

★中学生のための職業プログラムに積極的に協力します。

★大学との連携

主催公演のコンサートやワークショップで、近隣の音楽大学などと積極的に連携します。

学生ボランティア・インターンシップなどの受入をします。

平成30年度 地域活動(地域事業コーディネーター事業)企画

◎地域コーディネーター企画

活動企画	時期等	目的・概要
区民企画の公募・実施 地域課題を踏まえた企画を募集・サポート	3月～4月 年2本予定	地域課題と音楽を軸とした企画を募集。協働型事業として活動支援・サポート
区民サポートの募集・活動支援 主催事業などのお手伝い	3月～4月 通年募集	区民の方がボランティアとしてホールに携わり、地域デビューの場として活躍をしてもらう
チャリティーコンサート (例)あおばカノンコンサート	年1回想定	ケアプラザと連携しコンサートイベントを通して、地域の団体・人・施設を繋ぐ
オープンデー ホールを全館使用して楽しむイベント	8月	子どもから大人まで、地域の方にフィリアホールを知っていただき、音楽を通して1日を楽しんでもらう
STスポットアウトリーチ STスポットと連携事業(学校対象)口	下期 学校連携	学校と連携しプロのアーティストを呼んで、音楽の楽しさや素晴らしさを学んでもらう。
地域施設アウトリーチ ホール以外の施設での演奏会	年2本程度	区内の施設と連携し地域の方に音楽を気軽に楽しんでもらう

◎親子向け企画

活動企画	時期等	目的・概要
ワークショップ企画 父親向けワークショップ		お父さんと音楽を使ったスキンシップを楽しんでもらう
プチコンサート 0歳向け マタニティー 1歳～3歳向け	4・9月	クラシックの童謡・子守唄を中心に、お母さんに届けたい音楽を紹介 小さいころから本物の音楽に親んでもらう。子育てをされていて普段コンサートに行けないお母さんへ癒しの時間をお届けする。
バリアフリーコンサート 色々な障がいがあって、コンサートに来にくいと思っている人たちへの企画		お子様の障がいなどで周りに迷惑がかかることを気にして引きこもりがちな親子に、どなたでも気軽に参加できるバリアフリーコンサート
ジュニア合唱団 青葉区の小3から中3の子ども達	2月下旬 ～4月上旬 通年練習 年1回コンサート	合唱を通して歌の楽しさを学び、年齢を超えたコミュニケーションを身に付ける。 様々な課題をもった子ども達の居場所として機能させる 区民企画委員・講師として、区民の活躍の場とし事業を運営できるよう提供していく。

### Ⅲ. 施設運営に関する活動

#### 1. 施設運営の基本方針

多くの方々に日頃の成果を発表する場所、日々の練習の場、地域の人々が集える場としてご利用いただき、皆様に喜んでいただける施設であり続けることを目指します。運営の基本方針は、条例他の規定や利用要綱にのっとり適正に運営することを前提に、公正公平な利用確保の為、申請・手続き、そしてご利用本番まで、一定のルールをお守りいただくようお願いしていきます。

#### 2. 適正な施設運営管理

##### ◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

条例及び横浜市市民利用施設予約システム(以下予約システム)に従い、公平公正な施設運営を継続します。ホームページの改編により、「施設ご利用案内」を判りやすくします。「利用要綱」に基づき、「利用の手引き」を作成し、利用者へ配布します。各種の貸出備品の取り扱いを含め、ご利用のルールを守って、皆様が気持ちよくご利用いただける施設運営を行います。

##### ● 適切な利用料金と利用区分の設定

施設利用料金・利用区分については、別紙のとおり、現行の利用料金・利用区分の体系を継続します。

##### ● 料金の納入方法

基本利用料は利用申請時に現金でお支払いいただき、当日の延長料金、附帯設備費等は当日に現金でお支払いいただきます。利用料金の納入や返還等の基本事項については、利用要綱に明記し、利用者には適宜案内をいたします。

##### ● 減免・割引サービスの考え方

利用料の減免減免に際しては通常運営に大きな支障をきたさず、かつ特定の団体への優遇とならないよう判断します。

##### ◎ 利用料金の割引サービス

ホール利用者のリハーサル用途でのホール利用の場合は、通常の30%割引でご利用頂く事が出来ます。またホール空き区分を練習でご利用される方への利用日の27日前～7日前まで受付の場合は通常の30%割引を行っております。

##### ● 利用状況の適正把握

施設利用人数を適正に把握するため、ご利用時の利用人数を報告してもらいます。ホールでの公演の場合も、受付にて入場者数を把握して報告してもらいます。

#### 3. よりご利用いただくための運営努力

##### ◎ 稼働促進策

##### ● 諸室の稼働(ご利用予約)状況の広報

HPを改編し、トップページから常に空き室状況が確認できるようにします。情報コーナーにも、空き室状況を週単位で掲示し、予約の促進を図ります。

##### ● 「音楽練習」限定から利用できるジャンル形態の拡大へ

「音楽練習」に限定せず、リハーサル室での朗読会などのように、利用できるジャンル形態に柔軟に対応できるようにし、区民企画や地域連携事業での活用幅を広げるようにします。

##### ● ホール空き日を利用したピアニストの夢・カゲレンの実施

1時間単位で廉価な料金でホールでピアノ練習利用「ピアニストの夢」企画やピアノを使用しない練習利用「カゲレン！」企画は、継続します。ホール練習利用への誘導策として活用していきます。

##### ● レコーディングや撮影等の利用促進

今後、「撮影・録音・学校法人」を対象に一次利用での制限を緩和し、施設利用の門戸を広げる取り組みを実施します。一次利用での練習等から、公演本番利用や恒常的な録音利用へ繋がるようにしていきます。

#### 4. ご利用満足度向上のために

##### ◎ ご意見ご要望・ニーズの把握と対応

意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクルを確立させ、今まで以上にご利用者の声を踏まえて、満足度向上に取り組み、皆様にご利用していただける運営を展開してまいります。

##### ○ ご意見ご要望の収集とPDCA

情報コーナーなどに用紙を設置し、「意見箱」のような形で任意提出していただきます。

諸室の利用後の利用人数報告等の記載用紙に「意見欄」を設け、利用終了時に回収します。

収集したご意見ご要望は、定期的に内容を検討し、対応方針について検討の上、しかるべき場所に回答を掲示していきます。四半期ごとに収集したご意見ご要望をモニタリング報告としてあげていきます。



● 附帯設備や備品の充実

更なる利用者サービスの充実を求め、備品・附帯設備の新たな購入等を検討してまいります。

照明・音響設備でご利用者のご希望に対応できるような備品の検討を行います。また利用者の声・要望をお聞きし、リハーサル室等の備品・附帯設備の新たな購入等も検討してまいります。

5. 広報・プロモーション活動、情報提供

本施設では、「既存利用者」と「新規利用者」の2つの対象軸を持って、広報・プロモーション活動を実施します。HPやSNSの利用を強化してまいります。SNSを普段利用しない層に対しても情報が行き渡るよう、紙媒体(新聞・チラシ・地域情報誌・ダイレクトメール・イベントカレンダー・会報誌)も充実させます。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

● イベントカレンダーの改良

イベントカレンダーを改良し、公演情報に特化した情報媒体に変更します。

● 会報誌の新規作成

イベントカレンダーよりも詳細な情報を掲載します。年4回発行し、メンバーズ会員はもちろん、青葉区内の各施設等へ配布いたします。また、広告掲載スペースを設けて「広告料収入」も見込めるよう検討します。

● ホームページ(HP)の改良

HPを全面的なリニューアルを実施します。改良します。公演情報やチケット販売に繋がる部分の充実・施設利用へのわかりやすい説明、諸室の貸出予約状況公開など利用者の利便性向上・利用促進に繋がります。また、地域で活動する市民団体の紹介をHP上で行い、優れた市民団体の広報活動をサポートします。

● チケットWeb 予約システムの充実

チケット予約システムの利用方法を改良し、販売促進に繋がる利用者満足度向上に努めます。

・メンバーズ会員先行予約(Web申込)にて、座席指定可能⇒利用者満足度向上

・セット券をWeb予約可能⇒利用者の手数料負担軽減

・学生券の24時間Web予約可能⇒学生の生活スタイルに対応

● SNS等の活用と環境整備

メールマガジンやTwitterの活用の充実に加え、Facebook等による利用拡大を図ります。情報コーナーや楽屋等でWi-Fiの利用が出来るよう環境整備を整え利便性の向上を図ります

フィリアホールのSNSを活用して利用団体の広報支援として、公演情報やチケット販売情報の情報発信を行います。

SNSの活用においては、人権侵害防止や個人情報保護等に細心の注意を払い適切な運用を行います。

6. 年間利用率目標

ホール	69%	自主事業の充実と共に、地域連携事業などでの有効活用を促進します。
リハーサル室	86%	現在も、平均稼働率は90%近くであり、ご利用者様から高い評価を頂けておりますが、今後も安定した諸室の利用率を高める為に、様々な取組みを行ってまいります。
練習室1	89%	
練習室2	91%	
練習室3	86%	

#### IV. 平成30年度 施設管理への活動

##### 施設及び設備の維持保全及び管理

「総合的なマネジメント力」を発揮し、清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、利用者に安全・安心を提供すると共に、ホスピタリティあふれた快適な施設空間を提供します。

日常的なメンテナンス、保守点検、そして適宜必要な修繕が必須です。さらに25年を経過した施設の経年劣化に対処して、長寿命化計画を練っていく必要があります。

但し費用支出は十分適切な管理の下で行い、故障不具合発生をできるだけ未然に予測する「予防保全」の意識を持ち、最小限度の費用で効果が上がる方法を模索していきます。

##### 1. 日常点検と予防保全

予防保全を実現するために、日々の適切な点検(日常点検)と定期的な専門会社による点検(定期点検)を確実に実施し、点検内容を確認・検証することで修繕の必要性を判断します。

日常点検時に発券された不具合は、即時対応が必要か名度を判断した上で、補修・修繕を実施します。補修・修繕を実施した場合は貴区への報告を実施します。

##### ◎舞台設備保守

年間定期保守計画を作成し、各部署の定期保守を実施します。定期保守での不具合や修繕か初頭には、適宜内容を判断し必要な対応を行います。

スタインウェイ2台は、使用時に調律は必須とします。ヤマハグランドピアノは調律任意を継続し、状況により管理者側で定期保守以外の調律を行います。

##### 2. 清掃、美観管理業務の方針

上質なコンサートホールとしてのグレードを維持するためにも、施設的美観を維持し利用者に不快感を与えることのないように務めます。ホワイエなどのカーペット部分は定期洗浄とは別に日常的に染み抜き作業が出来る

経年劣化・汚れが目立ってきます。適宜必要な薬剤や清掃用具を適切に使用して適宜適切な清掃を行います。加えて、年間費用範囲で特別清掃実施を検討します。

##### 3. 備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理します。

ホール附属設備備品の使用は舞台スタッフにより貸出及び収納の管理を徹底します。リハーサル室他の備付備品はご利用者への貸出返還の管理を徹底します。

##### 4. 防火防災・防犯への取組み

##### ● 非常時対応マニュアルの整備

当施設は、商業ビルの中に位置しており、館内には不特定多数の方が利用することが前提となっております。共同防火管理体制化の一員として、緊急時には所定の指示に基づき、スタッフが行動いたします。青葉区民文化センターとしての「非常時対応マニュアル」を整備し、緊急時に対応を行います。

防犯対策についても、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切な対応を心がけます。

##### 5. 運営組織の構造 : 少数精鋭に夜総合力を発揮する人材の配置

##### ● 少数精鋭の「フィリアスタッフ」

利用者へ親切丁寧な対応が可能となる体制を構築することを最優先に考え、運営組織を構築します。

事務所スタッフは責任者を含む8名、舞台スタッフは3名で構成し、本施設を運営します。フラットな組織構造を目指し、共同事業体各社のスタッフを含めスタッフ全員で横断的に業務を遂行することで、組織としての一体感を生み、事業体が少数精鋭の「フィリアスタッフ」として機能するようにします。

##### ● スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

##### スタッフを対象とした研修・ミーティング

定期的な研修やミーティングにより課題の共有、能力のブラッシュアップアップを行います。個人情報・コンプライアンスの研修も代表企業を中心に行っております。ミーティングは適宜実施し、スタッフ間で意見交換、課題解決策の模索等を行っていきます。

個人情報保護教育eラーニング	1回/年	事務所ミーティング	毎月
コンプライアンス研修eラーニング	1回/年	カウンターミーティング	四半期
コンプライアンスチェックシート	毎月	レセプションистミーティング	四半期
他区民文化センター等との交流研修	適宜		

【青葉区民文化センター・フィリアホール施設基本使用料一覧表】

【単位：円(税込み)】

ホール利用料金

(要綱第15条)

用途	曜日	区分	(9時～10時) ※調律のみ	10時～12時	13時～17時	(17時～18時)	18時～22時	
			時間帯料金					
ホール口 500席 1階384席 2階116席	入場料 徴収	平日	時間帯料金	(6,800)	18,500	37,500	(10,000)	41,500
			10時～17時		56,000			
			13時～22時		79,000			
			10時～22時		97,500			
	録音・撮影 (営利目的)	土日 休日	時間帯料金	(8,000)	21,500	46,500	(11,500)	46,500
			10時～17時		68,000			
			13時～22時		93,000			
			10時～22時		114,500			
	入場料 無料	平日	時間帯料金	(4,000)	10,500	22,500	(6,000)	24,500
			10時～17時		33,000			
			13時～22時		47,000			
			10時～22時		57,500			
録音・撮影 (非営利・個人 趣味利用等)		土日 休日	時間帯料金	(4,800)	13,500	28,000	(6,500)	27,500
			10時～17時		41,500			
			13時～22時		55,500			
			10時～22時		69,000			
楽屋	楽屋1、2(18㎡)	10時～17時		500	800	(200)	800	
	楽屋3、4(26㎡)	13時～22時		800	1,100	(200)	1,100	
	楽屋5(36㎡)	10時～22時		1,000	1,600	(400)	1,600	

別表2 リハーサル室・練習室利用料金

(要綱第15条)

名称	面積定員	曜日	10:15～12:15	12:45～14:45	15:00～17:00	17:30～19:30	19:45～21:45
リハーサル室	(71.5㎡)	平日	2,350	2,350	2,350	2,700	2,700
	(80人)	土日・休日	2,850	2,850	2,850	3,000	3,000
練習室1	(24㎡)	平日	600	600	600	650	650
	(10人)	土日・休日	700	700	700	750	750
練習室2	(24㎡)	平日	600	600	600	650	650
	(10人)	土日・休日	700	700	700	750	750
練習室3	(27㎡)	平日	650	650	650	750	750
	(10人)	土日・休日	800	800	800	850	850

別表3 ホールの練習・リハーサル使用料金

(要綱第15条・利用細則第5条)

用途	曜日	区分	(9時～10時) ※調律のみ	10時～12時	13時～17時	(17時～18時)	18時～22時	
			時間帯料金					
ホール 500席 1階384席 2階116席	練習利用 割引適用の 30%減免後	平日	時間帯料金		7,350	15,750		17,150
			10時～17時		23,100			
			13時～22時		32,900			
			10時～22時		40,250			
		土日 休日	時間帯料金		9,450	19,600		19,250
			10時～17時		29,050			
			13時～22時		38,850			
			10時～22時		48,300			
	リハーサル 利用 割引適用の 30%減免後	平日	時間帯料金		7,300	15,700	(4,200)	17,100
			10時～17時		23,000			
			13時～22時		32,800			
			10時～22時		40,200			
土日 休日		時間帯料金		9,400	19,600	(4,550)	19,200	
		10時～17時		29,000				
		13時～22時		38,800				
		10時～22時		48,300				

維持管理年間計画(通年)

	業務	内容	頻度	実施詳細
機械設備	空調設備総点検		1回/年	全室空調設備の総点検
	空調設備フィルター保守	定期点検	1回/年	事務所空調機フィルター清掃
	フィリアホール内消火器詰替		1回/5年	
建物等	舞台設備保守管理点検	定期点検	3回/年	舞台吊物等メンテナンス
	照明設備保守管理点検	定期点検	2回/年	舞台照明設備メンテナンス
	音響設備保守管理点検	定期点検	1回/年	音響装置メンテナンス
	ITV設備保守管理点検	定期点検	1回/年	映像設備メンテナンス
	ホール客席保守点検	定期点検	1回/年	指定業者により実施
ピアノ保守等	ピアノ保守管理(ホール) (スタインウェイ2台)	定期点検	各1回/年	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した技術者による保守点検
	ピアノ保守管理(ホール) (ヤマハグランドピアノ1台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ保守管理(リハーサル室) (ヤマハグランドピアノ1台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ保守管理(楽屋3) (ヤマハアップライト1台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ保守管理(練習室2・3) (ヤマハアップライト2台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ調律(ホール)※1 (スタインウェイ2台)	調律	1回/年	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した技術者による調律
	ピアノ調律(ホール)※2 (ヤマハグランドピアノ1台)	調律	4回/年	
	ピアノ調律(リハーサル室) (ヤマハグランドピアノ1台)	調律	6回/年	
	ピアノ調律(楽屋3) (ヤマハアップライトピアノ1台)	調律	6回/年	
	ピアノ調律(練習室2,3) (ヤマハアップライトピアノ2台)	調律	7回/年	
清掃等	日常清掃業務	—	毎日	施設内清掃
	定期:床洗浄・ワックス塗布		1回/3ヶ月	
	定期:カーペット洗浄		1回/年	
	定期:窓ガラス(内面)		6回/年	
	特別:天井・照明器具		1回/年	
	特別:給排気口		1回/年	天井スピーカー含む
環境管理	ホール環境測定		2回/年	照度・空調・温度測定
	害虫駆除		1回/年	バーカウンター等の害虫駆除
小破修繕		—	適宜	

※1:ホールスタインウェイグランドピアノは、定期保守調律以外に、使用時に調律必須(施設利用者負担)・自主は管理者負担

※ホールヤマハグランドピアノは、8月に定期保守調律・それ以外の3回は使用状況により不定期(施設利用者負担なし・調律希望の場合は有料)

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。